

北九州市立曾根臨海運動場指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和2年9月3日（木）13:00～17:00
- 2 場 所 北九州市役所 5階 プレゼンルーム
- 3 出席者 (検討会メンバー)
井口構成員、河邊構成員、田代構成員、寺崎構成員、南構成員（五十音順）
(事務局)
市民文化スポーツ局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員

4 会議内容

- 事務局の推薦により、座長を選出。
- 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明。
- 応募団体（日本施設協会、北九州オペレーションマネジメント共同事業体、スピナ）より提案概要に関してヒアリング。
(提案書の内容につき説明)
- 応募団体（日本施設協会、北九州オペレーションマネジメント共同事業体、スピナ）との質疑応答。

●応募団体（日本施設協会）との質疑応答。

(構成員)

- ・ 16年間実績があるといわれていたが、その中で大きな事故はあったのか。

(応募団体)

- ・ 指定管理者の瑕疵によるトラブルは一切ない。安定した運営をしている。

(構成員)

- ・ 問題になるような事例は一回もないのか。

(応募団体)

- ・ 救急車を要請したりというような事例はあったが、あくまで利用者側が体調不良であったり、倒れられてというような事案で、我々の過失であったり瑕疵によるトラブル等は一度もない。

(構成員)

- ・ 指定管理者として事案が発生した場合の対応はどうしているのか。

(応募団体)

- ・ 万が一利用者が体調不良等で倒れた場合は必ず会社内で共有するようにしている。

(構成員)

- ・ 今回の施設は新規だが、利用者を増やす為の最初の広報活動はどのように考えているか。

(応募団体)

- ・ まずは近隣の方々、関係団体に積極的に声掛けをする。弊社が受託している図書館や北九州スタジアム等体育施設等でもお互いに情報交換して曾根臨海運動場を知るきっかけ作りをする。

(構成員)

- ・ 近隣というのはどの範囲で、近隣のどういう方に声を掛けるのか。

(応募団体)

- ・ 小倉南区の市民センター、幼稚園学校、総合型地域スポーツクラブ等、関係団体を中心にまずは声掛けをしていこうと考えている。

(構成員)

- ・ 図書館での実績が多く、利用者もスポーツする方と異なるが、事故があった際の対応や維持についてどう考えているか。

(応募団体)

- ・ 公共施設という大きな括りでは同じ。大元の考えとしては危機管理体制については同一。体育施設の運営も実績がある。北九州パレス・北九州スタジアム等の危機管理マニュアルを参考に、実情に基づいた危機管理体制を構築していこうと思う。

(構成員)

- ・ 維持管理に関しては建物ではなく運動場になるが、違いは何か。

(応募団体)

- ・ 天候や不可抗力等で影響があると考えている。北九州スタジアムのフィールド整備、北九州パレスのテニスコートの整備などのノウハウを基に運営していく。運動場の維持管理については知識のある職員の配置・採用を考えている。

(構成員)

- ・ スポーツ施設の管理であげた成果・効果はどのようなものか。

(応募団体)

- ・ 北九州パレスでは窓口対応をしている。テニスやバドミントンの大会を運営主催もしている。関係団体と連携しながらスポーツの大会を開催しようと考えている。

(構成員)

- ・ 施設の利用者増をどのように捉えているか。

(応募団体)

- ・ ソフトボール 4 面分の広大な運動場なので、ソフトボール団体、グランドゴルフ団体が主な利用者層になるのでは。ソフトボールであればスポーツ少年団に登録している団体、どちらでいうと子供の層。応援にくる親御さん等ミドル層の方々にも積極的にアプローチをして、たくさんの層の方に利用していただければと考えている。

(構成員)

- ・ 利用者アンケート満足度 98%はミクスタの数値をベースに検討しているのだろうが、他

の施設での実績がこの施設に対しても適用できるのか自信の程は。

(応募団体)

- ・ 指定管理業務を 16 年間しており、今回はスタジアムのアンケートを具体的に掲載したが、スポーツ施設でも高い満足度をいただいている。曾根臨海運動場においても同様に供用開始から高い満足度を得られると自負している。

(構成員)

- ・ 4 万人の内訳は。

(応募団体)

- ・ 具体的な内訳はない。情報発信や地域の近隣施設の連携、大会の主催等すべて事業を達成して、結果として 4 万人が達成できると確信している。

(構成員)

- ・ 女性・男性・高齢層、特に高齢層を推しているが、交通の面はどうなっているのか。

(応募団体)

- ・ 近くにバス停があるが、運動場の利用は道具が必要になることが多いので車でのアクセスが多いと考えている。
- ・ 将来的に芝生広場が整備されると、運動場とは違う層の利用者が来られる。そこで管理棟の中で公園の魅力発信など、運動場を知るきっかけ作りを行っていくことで 4 万人達成を確信している。

(構成員)

- ・ 施設の特徴、強み、弱みは。

(応募団体)

- ・ 海に面している景色の良さと広大なグラウンドが強みである。将来的に芝生広場やファミリー広場が整備される中で、公園とグラウンド場が連携できる部分も強み。
- ・ 海に面しているという意味では逆に弱みにもなりうる。強風によって、グラウンドの砂が飛散するため散水が必要。塩害も少なからずある。土が固くならない様な対応や、フェンスの劣化も早いのではないかと想定している。

(構成員)

- ・ 現場を本社でバックアップする具体的な体制は。

(応募団体)

- ・ 週に一度のオンライン会議で現場の責任者とそれを統括する管轄責任者、社長も出席して各施設の状況や問題点、疑問点を共有・解決している。

(構成員)

- ・ 新規設備の問題点で意識していることは。

(応募団体)

- ・ 砂塵の飛散が一番の問題点になりうる。近隣のご迷惑にならないよう、こまめに散水をする等対策をする。近隣住民にこまめにヒアリングをしながら適切に管理に努める。

(構成員)

- ・ 散水については散水車の準備はしているのか。

(応募団体)

- ・ ホースと車両の2つ放水を考えている。

(構成員)

- ・ 金額的に大丈夫なのか。

(応募団体)

- ・ 散水機を自作や雨水タンクの設置を予算の範囲内で検討している。

(構成員)

- ・ 他の新設に関する問題点は。

(応募団体)

- ・ 積極的に広報をしなければ利用に繋がらないので重点的に行う。

(構成員)

- ・ 自主事業については自動販売機設置以外に何かあるか。

(応募団体)

- ・ ギラヴァンツ北九州と連携して子ども向けのサッカー教室の開催と、誰でも楽しめるようなニュースポーツ等の大会を開催する。

(構成員)

- ・ ギラヴァンツ北九州のサッカー教室は運動場で教室を計画するのか。

(応募団体)

- ・ そのとおり。

(構成員)

- ・ 指定管理者と総合的スポーツクラブの関わりをどのように考えているか。

(応募団体)

- ・ 小倉南区を拠点にしている3団体に声を掛ける。コミュニケーションをとる中で連携できる事業がないか模索をしていく。スポーツクラブの情報発信を積極的にする。

(構成員)

- ・ 救急車の所要時間はどのくらいか。

(応募団体)

- ・ 確認していないが、近隣地図を調べると車で10分程度の場所に労災病院がある。

(構成員)

- ・ 自主事業でギラヴァンツのサッカー教室は年に1回開催なのか。

(応募団体)

- ・ はい。反響が良ければ複数回の実施を検討する。

(構成員)

- ・ ギラヴァンツの感触は。

(応募団体)

- ・ 年に2~3回という話はしていないが、サッカー教室に関しては了解をもらっている。

(構成員)

- ・ 無理難題を言ってくる利用者への対応は。

(応募団体)

- ・ 利用者の声を素直に聞く。ただし主張が合理的でない場合、毅然とした対応をする。

(構成員)

- ・ 判断基準は何だと思うか。

(応募団体)

- ・ 公共施設という設置目的にそぐわない意見の場合。恫喝や物にあたる行為があった場合は、関係機関に連絡する。

(構成員)

- ・ 冬場の扱いは。

(応募団体)

- ・ グラウンドは凍結する恐れがある為こまめに散水をする。

(構成員)

- ・ どのような団体が利用すると思うか。

(応募団体)

- ・ ソフトボール、野球団体がメインになると思う。サッカー、フットサル、ラグビーの練習等、スポーツにまつわる運動場の利用ができる。

●応募団体（北九州オペレーションマネジメント共同事業体）との質疑応答。

(構成員)

- ・ 指定管理収入が年間 1400 万円弱だが、申し込んだ理由は。

(応募団体)

- ・ これまでの経験を活かしたい。新たな施設から発信をしていきたい。金額的には十分やっていると判断した。総合型クラブが指定管理を受ける先駆けになれば。

(構成員)

- ・ 金額的には厳しいのでは。赤字覚悟になるのか。

(応募団体)

- ・ 不足する部分を自分たちで補う。想定が下回れば赤字覚悟でという思いはある。

(構成員)

- ・ 市の直接運営と市民目線のサービスは、どこに違いがあるのか。

(応募団体)

- ・ 規則を守りながら、早朝利用等、利用者にとって気持ちよく使っていただくための対応ができるような施設にしたい。

(構成員)

- ・ 納税証明書の中に延滞税があるが。

(応募団体)

- ・ 税理士が提出を忘れたため。指摘されてすぐに支払った。

(構成員)

- ・ 財産目録があるが内容の説明が不十分ではないか。

(応募団体)

- ・ NPO の報告義務として毎年遅延なく提出している。市から指導がなかった為、今後は改善していく。

(構成員)

- ・ 新規施設に対する思いを聞かせてほしい。

(応募団体)

- ・ イメージが着いたものではなく、真っ白なキャンパスに思いを描いていけるので期待している。立地条件が良い。交通アクセスが今後良くなっていく場所でもある。ビオトープ管理の経験を活かすし、地域マネージメントや波及効果、地域の資源を生かすコンテンツを作っていきたい。

(構成員)

- ・ 人員配置について、ACEさんと福山さんとの配置割合はどうか。

(応募団体)

- ・ 基本的にはACE。

(構成員)

- ・ 屋外の広い施設の維持管理をどう考えているか。

(応募団体)

- ・ 国内外問わず、施設の視察の経験を積んでおり、知識に関しては問題ない。実際の経験はないが、地元の経験豊富な業者さんと組んだり、グラウンドキーパーに協力してもらいながら補っていく。

(構成員)

- ・ 総合型クラブを新設するとは具体的には。

(応募団体)

- ・ 地域の方のニーズを組みながら。健康づくりやジュニア向けのクラブ等、柔軟に考えながら、できるところを探っていく。

(構成員)

- ・ 施設のサポーター、ボランティアの育成含め、総合型の関わり方は。

(応募団体)

- ・ 地域の方が愛着を持てるように流れを作っていく。地域の思いを受け止めながら進めていく。地域に根ざした施設、地域が自ら運営出来る様な組織としての力をつける。
- ・ スポーツと学童の連携等を考えている。

(構成員)

- ・ スポーツ施設としての特徴と課題は。

(応募団体)

- ・ 広大なグラウンドを活かしながらの事業展開。ソフトボール会場を一度に4面とれるのは例を見ない。管理は大変になるが、競技団体からの意見を聞きながら、スポーツ大会の誘致をする。アンケート等の意見を聞きながら、敷地を有効に使っていく。
- ・ 管理棟に学習室とギャラリーがある。トップアスリートの自主トレ誘致する場合、屋内練習場を求められる。トレーニング機器を入れる等、臨機応変に。

- ・ 大きな大会をする場合、今の状況では駐車場とトイレが少ない。軟式野球の利用の提案をしたい。

(構成員)

- ・ 寄付金はないのか。

(応募団体)

- ・ ない。完全事業型 NPO としてやっている。

(構成員)

- ・ 収益事業は。自動販売機は。

(応募団体)

- ・ 自動販売機はある。

●応募団体（スピナ）との質疑応答。

(構成員)

- ・ 団体の概要の資本金の桁が違うがチェックしたか。文章のミスが全体のミスに繋がる意識を持って。

- ・ 北九州スポーツクラブ連絡会との関わりの話があまり出てこなかったが。

(応募団体)

- ・ 自主事業で行う教室を専門的に行っている。スポーツ施設として管理運営方法についてアドバイスを貰っている。

(構成員)

- ・ ひびきコスモス運動場と今回の違いはどこにあるか。

(応募団体)

- ・ 似た施設ではある。グラウンド施設が半分なので、大規模な大会運営は難しいかもしれない。

- ・ 各グラウンド共同で行うとか中規模の大会を誘致する。違う点は、1～3キロ圏内に若者層がいること。

(構成員)

- ・ 維持管理上での違いはあるか。

(応募団体)

- ・ ひびきコスモス運動場と同じノウハウが使える。

(構成員)

- ・ 互換パトロールはいつ頃からしているのか。

(応募団体)

- ・ 30年以上は行っている。同じ人が同じところを見ないという風になっている。

(構成員)

- ・ 一元管理で具体的に取り組んでいることは。成果として見えたことは。

(応募団体)

- ・ グラウンドキーパーは施設の細かな違いはあるが、作業内容は変わらないことから、急な欠員が出た時にフォローに回ることができることで円滑な運営が出来る。備品や消耗品を一括購入し業務を共通化、コストを抑える。利用調整で他のグラウンドを案内できる。

(構成員)

- ・ 指定管理者 A 評価の自慢は。

(応募団体)

- ・ 様々な教室、大会、地域の方の協力があって利用者が増えたこと。利用者の方々から、非常に良いという評価をたくさん頂いた。従業員一人一人のサービスが評価されたことが非常に嬉しい。

(構成員)

- ・ 市に質問。A 評価というのは他にはないのか。

(事務局)

- ・ ない。普通が C である。文化施設を入れても A はほとんどない。

(構成員)

- ・ 苦情の対応について社内で繰り返し行っているのか。

(応募団体)

- ・ 利用者が何に怒っていて、スタッフがどのような言葉遣いでどう対応したのか、時系列でまとめ皆で情報を共有、今後の対策をしている。

(構成員)

- ・ 譲れない線引きは。

(応募団体)

- ・ ルールについては一步も踏み出してはならない。安全であること。

(構成員)

- ・ ひびきコスモス運動場は新設からなのか。最初どのように整備するのか。

(応募団体)

- ・ まずはグラウンド整備から。小石を除いたり砂塵対策をしたりして、利用者や近隣の方々に害がないように。

(構成員)

- ・ 場所的にどうなのか。住宅地が周りにあるのか。

(応募団体)

- ・ 近隣には産業団地と田んぼがある。住宅地は 1 キロ先にある。

(構成員)

- ・ 砂塵は散水車でやるのか。1380 万円でやれるのか。

(応募団体)

- ・ はい。散水車は購入しなくてもレンタルがある。費用として織り込んでいるので問題なし。別の施設で使っている車を投入することも可能。

(構成員)

- ・ ひびきコスモス運動場では植栽はしたのか。
(応募団体)
- ・ 公園課が担当した。
(構成員)
- ・ ひびきコスモス運動場の立ち上げからの責任者を新施設に行かせて大丈夫なのか。
(応募団体)
- ・ 後任が育っているので問題ない。
(構成員)
- ・ 周辺は若い方が多いことから、宣伝は SNS 等が有効ではないか。
(応募団体)
- ・ フリーペーパーの WEB での展開や自社の HP でも施設の紹介をしている。
(構成員)
- ・ 新たな層を開拓する面で始めることは。
(応募団体)
- ・ あくまでも地元に着した広報活動を継続ことが大事だと考えている。
(構成員)
- ・ 地域との共同の部分、自主事業の部分を見せて。
(応募団体)
- ・ 地域で頑張っているスポーツ団体と一緒にイベントを開催する。地域の方々と防災を絡めた催しを行う。若松ソフトボール連盟や老人会と連携して大会運営、スケジュール調整もしている。
(構成員)
- ・ 状況に応じた柔軟な対応も可能なのか。
(応募団体)
- ・ はい。
(構成員)
- ・ 総合型地域スポーツクラブや子ども向けの取組みで、ひびきコスモス運動場で何か継続して形になったり成果を上げたりしたものは。
(応募団体)
- ・ 新しいスポーツを体験する場としてサマースクールを開催。テニスの親子体験教室も多くの方に喜んで貰えた。

●構成員全員で意見交換

検討会としての検討結果について各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを、下記のとおり、決定した。

- 1 指定管理者としての適性のうち、

- (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針について
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、4
 - ・ スピナは、4
- (2) 安定的な人的基盤や財政基盤について
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、4
- (3) 実績や経験などについて
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、5

2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、

- (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについて
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、4
 - ・ スピナは、4
- (2) 利用者の満足度について
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、4

効率性のうち、

- (3) 指定管理業務に係る経費について
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、4
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、4

適正性のうち、

- (5) 管理運営体制などについて
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、4
 - ・ スピナは、4
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて
 - ・ 日本施設協会は、3
 - ・ 北九州オペレーションマネジメント共同事業体は、3
 - ・ スピナは、4

- ・ 日本施設協会は利用者目線での提案が聞けなかったのが残念である。積極的な取り組みの提案が弱く、熱意や具体的性があまり感じられなかった。当該施設の特性への踏込みも不足している。
- ・ 北九州オペレーション共同事業体は指定管理業務への熱意、夢やビジョンを持っていると感じた。提案内容も良く、総合型地域スポーツクラブが施設を管理するというモデルケースになるのではという期待感はあるが、それを実際の運営面にどう反映させるのか、やや踏み込みが不足していた。
- ・ スピナはスポーツ施設の指定管理経験が豊富であり、指定管理事業を拡大していこうという長期的な会社の運営方針が感じられた。ひびきの経験に裏付けられた自信や使命感も伝わった。現在管理中の施設との予約の調整や物的資源のやり取りの効率化も期待でき、安定性も感じられる。地域の方々との取組みを充実させれば、さらに良いものになるのではないかと。